

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課  
 担当名: 企画・セキュリティ担当  
 内線: 2272

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N77	情報セキュリティクラウド事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子県庁推進費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9, 11
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-2, 9-3, 9-4, 9-5
1 事業概要 頻発・高度化するサイバー攻撃から県及び市町村の重要情報を守るため、県と市町村のインターネット接続口を集約して高度な防御機能と一元的な監視強化を行うことにより、インターネットにおける自治体の高度なセキュリティ水準を確保する。  情報セキュリティクラウド運用 契約差金 △46,539千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 情報セキュリティクラウドの運用 299,622千円 (ア) 次期情報セキュリティクラウドの利用に係る費用 295,310千円 a 県及び市町村のインターネット接続口を集約し、情報セキュリティクラウドにて通信を監視する。 b 情報セキュリティクラウドを県及び市町村で共同利用し、高度なセキュリティ水準を確保する。 c 民間ベンダが提供するクラウドサービスを利用する。 (イ) 現行情報セキュリティクラウドの撤去に係る費用 4,312千円 a 現行情報セキュリティクラウドのサービス終了に伴い、機器類及び回線等を撤去する。  (2) 事業計画 ア 平成27・28年度 情報セキュリティクラウドの構築 イ 平成29年度以降 情報セキュリティクラウドの運用 ウ 令和3年度 次期情報セキュリティクラウドの基本設計 エ 令和4年度 次期情報セキュリティクラウドの導入・移行 オ 令和5年度 次期情報セキュリティクラウドの運用開始及び現行情報セキュリティクラウドの撤去  (3) 事業効果 県及び市町村が高度なセキュリティ水準を確保し、セキュリティ事故の発生を抑止する。  (4) その他 県及び市町村の64団体が共同で利用するシステムであるため、県と契約し各市町村は費用を案分して負担金を納付する。  (5) 補正予算の概要 EDRの導入数を14,000台から250台に削減した。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 市町村負担あり									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人=43,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△46,539	諸収入						△46,539	299,622
現計額	346,161	191,880						154,281	

## 事業内訳書

事業名	情報セキュリティクラウド事業費		
単位事業名	情報セキュリティクラウドの運用	予算額	△ 46,539千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△46,539	—	
合計	△46,539	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△46,539	—	情報セキュリティクラウド運用に係る契約差金
合計	△46,539	—	